

■空襲の記憶(北九州と空襲)

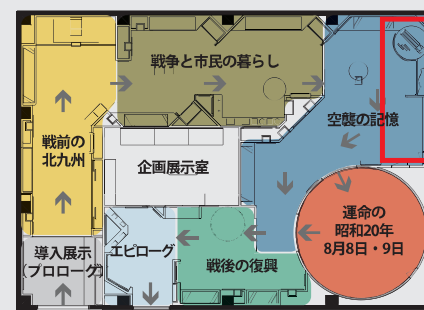
壁面に投影された言葉をタッチし、様々な証言が浮かび上がる映像装置。  
市民の戦争の過酷な体験に触れる。

空襲の記憶

空襲目標となった北九州市の各種被害や市民の過酷な戦争体験、北九州における防空体制等を紹介する。

〈空襲と市民の暮らし〉

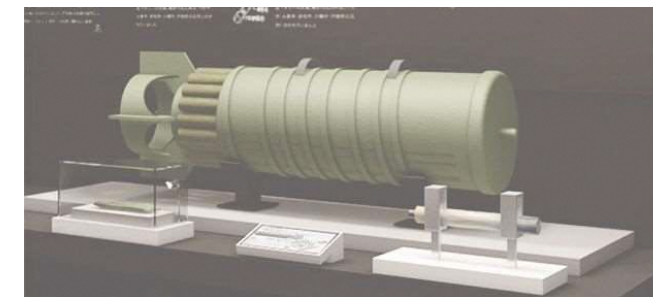
空襲から身を守るための市民の生活の工夫や過酷な体験を知る。



集束焼夷弾の再現

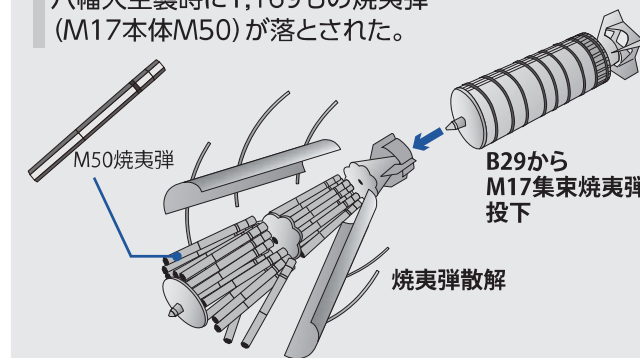
模型

構造がわかるよう再現した集束焼夷弾の模型。  
市街地に大きな被害を与えたことを伝える。



●集束焼夷弾のしくみ解説グラフィック

八幡大空襲時に1,169もの焼夷弾(M17本体M50)が落とされた。



【映像装置】「触れる言葉」

映像装置

本市が発行した『後世に語り継ぐ北九州市民の戦争体験』から、空襲の記憶を紹介する映像装置。  
壁面に投影した言葉に触れると関連する写真や記録が壁面に浮かび上がるしくみ。



●ラフイメージ

数種類の「言葉」が投影され点滅している。「言葉」は文章の一部  
いずれかの「言葉」に触れると、センサーで感知。

選択した「言葉」の文章全体と関連する写真等が投影。  
('言葉'は何種類か準備し、時間によって差しかわる。)



スクロール／画像情報検索

名称	(仮称) 平和資料館展示設計業務委託	チェック	+	日付		設計		備考		図面名称	概要版	縮尺	図面番号
	実施設計										常設展示室		04